リノベーション事例シート（E案）

■After 建築名称 下段：英語名	海老原商店 EBIHARA SHOTEN		
建築用途	大分類 集会施設、展示施設	小分類 展示場、イベント会場	
改修設計者		URL	
所在地	東京都千代田区神田須田町2-13-5	Google Map	写真-1 After　外観
改修年			撮影者 提供者　撮影：桐原武志　2017年
建築規模			概要 Aftre　生地問屋廃業のあと看板建築を活かした展示会場、イベント会場に改修
関連事項	千代田区景観まちづくり重要物件		
■Before 建築名称	海老原商店		概要 Befor　周辺の看板建築は解体されたが、千代田区内で残っている数少ない看板建築
建築用途	大分類 商業施設	小分類 生地問屋	

■写真 Before　リノベーション前、店の入口にシャッター	写真-3 After　シャッターが取り外され木製格子扉に	写真-4 After　2階の居室。手前手摺の部分が吹抜け
撮影 提供者　提供：海老原義也氏	撮影 提供者　撮影：桐原武志　2017年	撮影 提供者　撮影：桐原武志　2022年

■リノベーション内容	キーワード 用途変更、大規模改修、外観保存、耐震、アート	内容 海老原商店について ＜海老原商店Websiteより＞古着屋として明治20年に創業し、既製服や反物など時代に合わせた商品を扱いながら営業を続けてきました。現在の海老原商店の建物が建築されたのは1928年。当時の店主・海老原保蔵と、親交のあった画家との二人三脚で、何度も試行錯誤を繰り返しながら、看板建築様式を採用したファサードのデザインが制作されました。海老原商店は、看板建築の中でも和洋を取り入れたファサードやガラス等のデザイン、商店と居住スペースをバランスよく配置した間取り、天窓から吹抜けの空間を通して光を取込む設計等、看板建築を代表する要素が数多く採用されています。また、当時の設計図面や営業の記録が残されており、学
■備考		

■作成者 氏名／所属	桐原武志／Free JIA再生部会	管理者 記載